



2024年11月6日

各位

上場会社名 J F Eホールディングス株式会社
代表者 代表取締役社長 北野 嘉久
(コード番号 5411)
問合せ先責任者 IR部広報室長 高見 朋子
(TEL 03-3597-3842)

業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2024年8月5日に公表した2025年3月期の連結業績予想および配当予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

●業績予想の修正について

2025年3月期通期連結業績予想の修正(2024年4月1日～2025年3月31日)

	売上収益	事業利益※	税引前利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,240,000	260,000	275,000	205,000	322.35
今回修正予想(B)	4,970,000	160,000	180,000	130,000	204.39
増減額(B-A)	△270,000	△100,000	△95,000	△75,000	
増減率(%)	△5.2	△38.5	△34.5	△36.6	
(参考)前期実績 (2024年3月期)	5,174,632	298,224	268,386	197,421	323.33

※事業利益：税引前利益から金融損益および金額に重要性のある一過性の項目を除いた利益。当社連結業績の代表的指標。

修正の理由

2025年3月期の通期連結業績予想につきまして、鉄鋼事業における数量減や海外グループ会社の減益影響等により、事業利益は、前回見通しを1,000億円下回る、1,600億円を見込んでおります。

セグメント別の状況は、以下の通りです。

鉄鋼事業においては、国内建材分野における建設コスト上昇・人手不足等を背景とした一層の需要減速や、アジア向け自動車鋼材需要の停滞等により、単独粗鋼生産量は前回見通しを60万トン下回る2,240万トン程度を見込んでおります。セグメント利益(※)については、数量減影響や海外グループ会社の減益、また棚卸資産評価差等の一過性の減益要因により、前回見通しを950億円下回る、700億円を見込んでおります。

エンジニアリング事業においては、Waste to Resource 分野、基幹インフラ分野を中心に高水準の受注高が継続しており、セグメント利益は前回見通しどおりの200億円を見込んでおります。

商社事業においては、下期における中国経済の不透明感や国内建材市場の低調継続等の影響により、セグメント利益は前回見通しを50億円下回る、450億円を見込んでおります。

以上に、個別開示項目を加味したグループ全体の税引前利益は、前回見通しを950億円下回る1,800億円、親会社の所有者に帰属する当期利益は、前回見通しを750億円下回る1,300億円を見込んでおります。

※セグメント利益：事業利益に金融損益を含めた利益。各セグメントの業績の評価指標。

●配当予想の修正について

修正の内容

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
前回予想 (2024年8月5日発表)	円 銭 —	円 銭 50.00	円 銭 —	円 銭 60.00	円 銭 110.00
今回修正予想	—	—	—	50.00	100.00
当期実績	—	50.00			
前期実績 (2024年3月期)	—	50.00	—	50.00	100.00

配当予想修正の理由

当期の期末配当については、上記のとおり業績予想を下方修正することとなりましたが、来期以降の業績動向や株主への安定的な利益還元を重視する観点から、前回予想の1株につき60円(年間配当110円)を、1株につき50円(年間配当100円)と前期実績同水準に変更することといたしました。

以上